

西条市にできる新しい高校の校名候補

※50音順

【小松高校の校地にできる新しい高校】

- ① 愛媛県立 （ いしづち ） 高等学校
- ② 愛媛県立 （ ^{いしづち}石鎚 ） 高等学校
- ③ 愛媛県立 （ ^{きょうそう}教創 ） 高等学校
- ④ 愛媛県立 （ こまつ ） 高等学校
- ⑤ 愛媛県立 （ ^{こまつ}小松 ） 高等学校
- ⑥ 愛媛県立 （ ^{しゅうそう}周桑 ） 高等学校
- ⑦ 愛媛県立 （ ^{つばき}椿 ） 高等学校
- ⑧ 愛媛県立 （ ^{つばきやま}椿山 ） 高等学校
- ⑨ 愛媛県立 （ ^{ひすい}緋翠 ） 高等学校
- ⑩ 愛媛県立 （ ^{みと}水都 ） 高等学校

※ 地域の中学生や高校生による投票結果を参考に、準備委員会で協議し、校名案の最終候補を決定することとしています。なお、準備委員会において、複数の校名案を参考に新しい校名案のアイデアを出す場合もあります。

【小松高校の校地にできる新しい高校について、中学校・高校から提出された校名案及びその理由等】

※50音順

校名案 ※ () は読みがな		中学校や高校から提出された思いや願い、考えた理由	
愛媛県立	いしづち	高等学校	小松高校の校地にできるので、四国最高峰の石鎚山を南に仰ぐ、旧小松町の土地になじみやすい校名にしました。柔らかく親しみやすい印象を与えるひらがな表記にしました。
愛媛県立	石鎚 (いしづち)	高等学校	近くにある石鎚山のように勇ましく堂々とそびえ立つ高校や、石鎚山に見守られた誇り高い高校になってほしいという思いを込めました。
愛媛県立	教創 (きょうそう)	高等学校	教育を地域で創ることを意味する校名です。入学生が新しい教育を自ら創っていくような高校になってほしいという願いが込められています。
愛媛県立	こまつ	高等学校	小松の地名を残しつつ、ひらがな表記の新しいイメージにしました。近藤篤山先生の教えを胸に、知識や教養を身に付けた、自らを誇る高校になってほしいです。
愛媛県立	小松 (こまつ)	高等学校	小松高校の場所にできる学校なので、地域の名前をそのまま残しました。近藤篤山先生の教えを引き継ぎながら、地域社会に貢献できる学校になってほしいです。
愛媛県立	椿 (つばき)	高等学校	小松を代表する椿の「控えめなすばらしさ」「謙虚な美德」という花言葉のように、優しく温かい生徒が通う、地域から愛され、個性が咲き誇る学校になってほしいです。
愛媛県立	椿山 (つばきやま)	高等学校	日々勉学、運動に努め、よりよい高校生活を送ってほしいと思い、「椿山」の「椿」は小松の有名な花から、「山」は近藤篤山先生の名前、石鎚山から名付けました。
愛媛県立	緋翠 (ひすい)	高等学校	生徒たちが何事にも興味を持って取り組みながら活発に学校生活を送る姿や、人と人をつなぐ明るいイメージの学校を想像して考えました。
愛媛県立	水都 (みと)	高等学校	水の都である西条で、穏やかな水流のように日常を送ったり、激流のように学校行事や部活動に取り組んだりする学校になってほしいという願いを込めました。

【振興計画における仮称】

愛媛県立	周桑 (しゅうそう)	高等学校
------	---------------	------

【現校名】

愛媛県立	小松 (こまつ)	高等学校
------	-------------	------